

# 決算

問財政課 ☎52-2113

市の財政は、皆さんから納めていただいた税金や国からのお金などで成り立っています。平成21年度も貴重なお金を有効に使えるよう、やりくりしました。今回は9月の定例市議会にて認定された平成21年度の決算のあらましをお知らせします。

※金額は1万円未満を四捨五入しています



## 《一般会計歳入》 208億6,108万円

市税	40億7,459万円 (19.5%)
諸収入	7億2,775万円 (3.5%)
繰入金	2億3,329万円 (1.1%)
繰越金	7億4,289万円 (3.6%)
分担金及び負担金	2億5,057万円 (1.2%)
その他	1億2,314万円 (0.6%)
地方交付税	66億9,758万円 (32.1%)
市債	26億2,513万円 (12.6%)
国庫支出金	30億1,467万円 (14.4%)
県支出金	16億5,012万円 (7.9%)
地方消費税交付金	3億5,215万円 (1.7%)
地方譲与税	2億7,069万円 (1.3%)
その他	9,852万円 (0.5%)

6億1,633万円  
黒字

## 一般会計歳出》 202億4,475万円

民生費	47億1,806万円 (23.3%)
公債費	30億1,640万円 (14.9%)
総務費	28億6,567万円 (14.2%)
教育費	28億5,966万円 (14.1%)
土木費	22億8,285万円 (11.3%)
農林水産業費	12億1,347万円 (6.0%)
衛生費	9億9,786万円 (4.9%)
商工費	9億8,804万円 (4.9%)
消防費	9億3,586万円 (4.6%)
議会費	2億1,561万円 (1.1%)
その他	1億5,127万円 (0.7%)

自主財源  
(29.5%)

依存財源  
(70.5%)

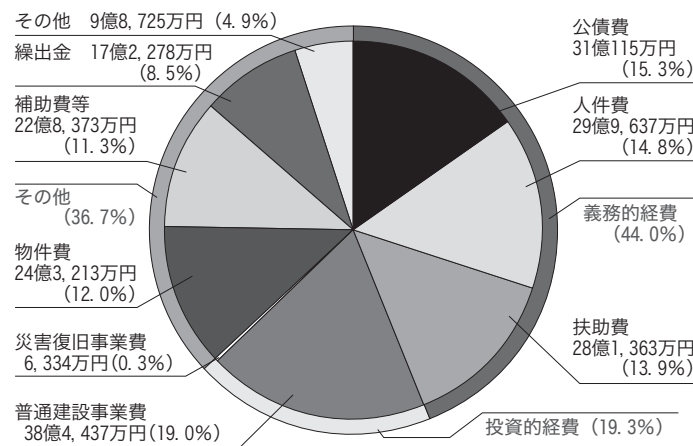
### 大半を国に依存

「一般会計」は、市の基本中心となる仕事のための会計です。平成21年度の一般会計決算は、歳入（収入）が208億6108万円、歳出（支出）が202億4475万円、6億1633万円の黒字になりました。

### 特別会計も黒字

市の会計には一般会計のほか、特定の事業や収入・支出を一般会計と区別して処理する「特別会計」と、事業で得られる収入で経費をまかなう独立採算制を原則とした「公

## 一般会計歳出・性質別》



## 特別会計》

会計名	収入額	支出額	差引額
土地取得事業	2,396万円	2,396万円	0万円
国保(事業勘定)	42億5,860万円	42億4,766万円	1,094万円
国保(直診勘定)	2億6,853万円	2億6,853万円	0万円
老人保健	371万円	275万円	96万円
後期高齢者医療	2億4,703万円	2億4,688万円	15万円
介護サービス事業	8,200万円	8,200万円	0万円
魚市場事業	2,665万円	2,665万円	0万円
漁業集落排水事業	3億7,352万円	3億7,352万円	0万円
公共下水道事業	19億5,407万円	19億5,407万円	0万円
合計	72億3,807万円	72億2,602万円	1,205万円

## 企業会計》 水道事業会計

区分	収入額(税込)	支出額(税込)
収益的収支	7億2,376万円	7億899万円
資本的収支	4億1,675万円	5億8,251万円

営企業会計」の2つの会計があります。

市の特別会計には、国民健康保険や公共下水道、後期高齢者医療など、8会計があります。8会計の収入の合計は72億3807万円、支出の合計は72億2602万円、全体で黒字になりました。

市の公営企業会計は水道事業会計の1会計です。皆さんからいただく水道料金を主な収入として、水道施設を維持管理するための収益的収支（消費税を含む）は、収入が7億2376万円、支出が7億899万円でした。

### 財政の健全化を実行中！

- 実質公債費比率16.0% (20年度16.5%・県内13市平均16.1%)  
これは、毎年続けて入ってくる収入のうち、何%が借金返済に使われたかを示すもので、過去3年間の平均値です。この数値が18%を超えると、自由にお金を借りることができなくなります。
- 経常収支比率84.3% (20年度84.8%・県内13市平均88.6%)  
これは、市が毎年続けて支払う支出を、毎年続けて入ってくる収入で割った数値です。80%を超えると財政は苦しいといわれています。

## 平成22年度予算の進み具合

※9月30日現在。金額は平成21年度繰越明許費を含むもので、1万円未満は四捨五入しています

### ■一般会計》

歳入名	予算額	収入額	執行率
市税	39億146万円	24億7,359万円	63.4%
地方交付税	66億9,025万円	47億4,972万円	71.0%
国庫支出金	31億2,799万円	8億8,319万円	28.2%
県支出金	21億2,975万円	2億9,167万円	13.7%
市債	23億387万円	0万円	0%
その他	23億9,950万円	13億154万円	54.2%
合計	205億5,282万円	96億9,971万円	47.2%

歳出名	予算額	支出額	執行率
総務費	28億6,075万円	9億9,864万円	34.9%
民生費	54億2,139万円	21億2,719万円	39.2%
農林水産業費	11億825万円	2億5,521万円	23.0%
土木費	25億2,491万円	5億9,900万円	23.7%
教育費	21億1,522万円	8億7,579万円	41.4%
公債費	30億1,574万円	15億8,867万円	52.7%
その他	35億656万円	16億5,667万円	47.2%
合計	205億5,282万円	81億117万円	39.4%

### ■特別会計》

会計名	予算額	支出額	執行率
土地取得事業	2,327万円	1,170万円	50.3%
国保(事業勘定)	44億1,618万円	18億1,677万円	41.1%
国保(直診勘定)	2億7,126万円	1億2,160万円	44.8%
老人保健	351万円	0万円	0%
後期高齢者医療	2億3,786万円	5,074万円	21.3%
介護サービス事業	9,555万円	3,876万円	40.6%
魚市場事業	2,912万円	1,780万円	61.1%
漁業集落排水事業	4億6,152万円	6,467万円	14.0%
公共下水道事業	14億2,085万円	4億3,863万円	30.9%
合計	69億5,912万円	25億6,067万円	36.8%

### ■企業会計・水道事業会計》

区分	予算額	支出額	執行率
収益的支出	7億2,394万円	1億9,676万円	27.2%
資本的支出	6億5,865万円	1億4,206万円	21.6%

※資本的支出の金額は、地方公営企業法の規定による繰越額を含んでいます

## 用語の説明

表に出てくる分かりづらい主な用語を説明します

### 【収入の関係】

- ▶地方交付税…人口や環境などの違いで生まれる地方間の格差を調整するため国から配分されるお金です。国が徴収する所得税や法人税などがもとになっています
- ▶国庫支出金=国と地方が協力して行う公共事業や社会保障、教育などの財源に充てるため、国が支出するお金です

### 【支出の関係】

- ▶民生費=福祉や子育てを支援するために使うお金
- ▶公債費=市の借金返済などに使うお金
- ▶総務費=市役所の庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金の徴収などに使うお金
- ▶教育費=学校や生涯学習、スポーツなどを推進するために使うお金
- ▶土木費=道路や公園などの整備や補修に使うお金
- ▶農林水産業費=農林水産業の振興などに使うお金
- ▶衛生費=環境の保全や健康を増進するためなどに使うお金
- ▶商工費=商工業や観光を促進するために使うお金
- ▶消防費=消防や災害対策などのために使うお金